

2024 AJG 女子ルール

- ・大会の級を5級からエリートに分け、選手はこのうち1つのクラスにエントリーできる。
- ・級は年齢に関与せずに参加できる。
- ・5級、6級の表彰については年齢、参加人数に応じて6歳以下～2年生・3年生～4年生・5年生以上の3部門又はそれ以上になる場合もあります。但し開催年によって参加者に変動がある為、エントリー終了後年齢の区切り方を検討し、抽選後に発表する。
- ・団体は各所属の個人総合上位3名の合計得点とする。

男女5級 ※5級は男女同じルールとなります

対象は小学校6年生までとする

本連盟改定ルールを適用・花丸加点適用

マット・鉄棒は終末技も含めて5技以上とする(1技不足ごとに0.3減点)

マット・鉄棒の同一要素は2回まで認める

難度表にない技も技として認める

CR・特別要求はなしとする

その他については2022年版採点規則に準拠する

採点は10.00から行う(実施減点・要素不足減点)

花丸(加点内容)

各0.1 最大0.3得点に加算する

① 始めと終わりの挨拶が大きい

② 着地が止まる

③ 姿勢欠点のない演技

マット

ゆかフロア横向きで実施(距離12m) ※対角線は不可

演技時間1分前後(タイム減点なし)

女子は音楽有無自由

5要素(CR・特別要求なし)

とび箱

横向き(100cm前後)→高さ・向きは固定とする。

1回の跳躍を実施(1回目の跳躍が0点の場合のみ2回目を実施できる)

難度表にない技も認める(開脚跳び・閉脚跳び・ヘッド転回)

鉄棒

高さ150cmを目安とする(高さ変更無し)→必要であれば追加マットで対応

5要素(CR・特別要求なし)

7級

全日本ジュニア体操競技東西/決勝大会女子 Cクラスルール

8級

全日本ジュニア体操競技東西/決勝大会 Bクラスルール(変更規則Ⅱ一部変更)

一部変更規則 (1)跳馬 第2空中局面で1回以上のひねりを伴う前方宙返りまたは 後方宙返りは無効とする。

器械種目寸度(マットの高さ 20 cmで床面からの高さ)

(1)跳馬 1m25 cm

(2)段違い平行棒 低棒 1m75 cm・高棒2m55 cm・棒間間隔最大 1m81 cm

(3)平均台 1m25 cm

9級(ベスト3で団体順位を決定)

全日本ジュニア Aクラスルール(変更規則Ⅰ・Aクラス規則)(花丸適用)情報最新号

10級(ベスト3で団体順位を決定)

日本体操協会 2022年版採点規則 変更Ⅰ 情報最新号

エリート(ベスト3で団体順位を決定)

日本体操協会 2022年版採点規則 情報最新号